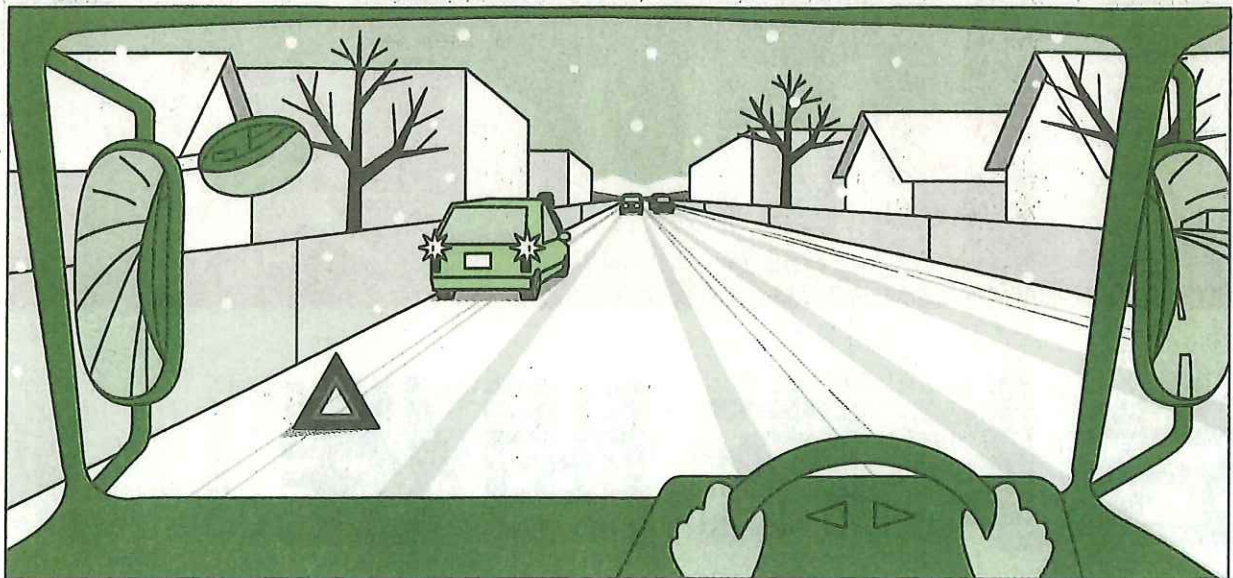


# 危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

## 〔第 154 回〕「降雪時、故障車がいる道路の走行」

状況

あなたは、降雪し道路も積雪している片側 1 車線の道路を走行しています。前方には故障で動けなくなり停止している車があります。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



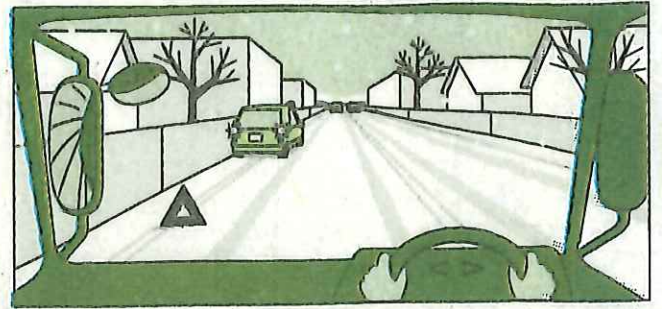
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

# 危険予知訓練(KYT)シートの解説

## ▶ 交通事故防止編

あなたは、降雪し道路も積雪している片側1車線の道路を走行しています。前方には故障で動けなくなり停止している車があります。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



### どのような危険がありますか？

- ① 発見の遅れやスリップにより停止車両に衝突する危険があります(図1)。
- ② 停止車両のそばにいる歩行者と衝突する危険があります(図2)。
- ③ 故障車を避けた際、対向車と衝突する危険があります(図3)。

### どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ① 積雪した道路では、故障等により停止している車両を見かけることがあります。積雪した道路では、滑りやすく停止距離が長くなることに加えて、降雪時は視界も悪化します。この場面で漫然と運転していると、停止車両の発見が遅れ、ブレーキを踏んでも間に合わず、停止している車両に衝突するおそれがあります。積雪した道路や降雪時は、いつも以上に緊張感をもち、集中力を高めて危険の早期発見に努めましょう。また、積雪路面では、通常のブレーキ操作では、間に合わないことがあります。いつもよりも早めのブレーキングを徹底しましょう。
- ② 事故等で停止した車両の周辺にいた人と衝突する事故が発生しています。故障等で車から降りた人のなかには気が動転し、不用意に車道に出てくる人もいます。停止車両を見つけた時には、車両周辺に人がいることを予測して、しっかり減速しておきましょう。また、人を確認した時には、車道に出てくることを想定し、人の動向に十分注意してください。
- ③ 積雪した路面での急ハンドルや急ブレーキ等の「急」がつく運転操作は、スリップの大きな原因となります。この場面のように、対向車が接近している状況で「対向車が来る前に、車を追い越してしまおう」と考え、安易にハンドルを切ると、スリップ事故に繋

図1

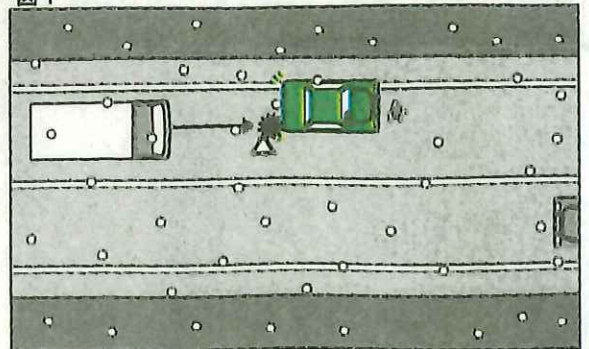


図2

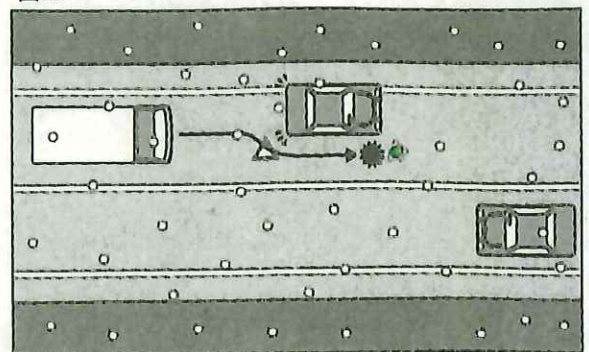
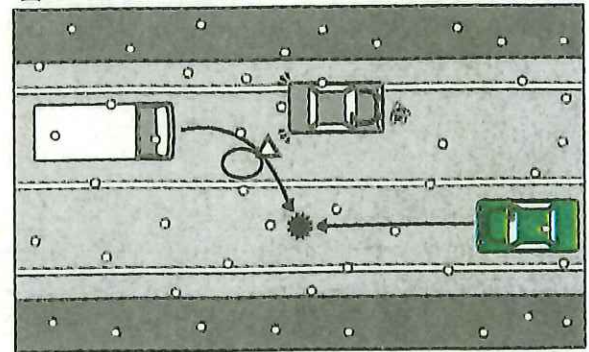


図3



がるおそれがあります。この場面では、対向車の通過を待ってから追越しをしましょう。積雪道路では、一つひとつの操作をゆっくり・丁寧にすることが大切です。